

## 基本情報

指標番号  
3323

名称  
周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：乳房切除術

分母  
乳房切除術が行われた症例

分子  
手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標群  
周術期抗菌薬予防投与

意義  
周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ）をみるプロセス指標

年度  
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット  
DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

診療行為コード	基本漢字名称	Kコード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150121410	乳房切除術	K475	○	○	○	○	○	○	○
150405810	乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）	K475					○	○	○
150413710	乳房切除術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対して行った場合）	K475						○	○
150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）	K4761	○	○	○	○	○	○	○
150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	K4762	○	○	○	○	○	○	○
150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	K4763	○	○	○	○	○	○	○

診療行為コード	基本漢字名称	Kコード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む））	K4764	○	○	○	○	○	○	○
150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの）	K4765	○	○	○	○	○	○	○
150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施するもの）	K4766	○	○	○	○	○	○	○
150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの）	K4767	○	○	○	○	○	○	○
150122150	乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術併施	K4767	○	○	○				
150386410	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））	K4768				○	○	○	○
150386510	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの））	K4769				○	○	○	○

3. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
616[1/9][4/5/6]**	主として抗酸菌に作用するもの	注射	○	○	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○	○	○

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

#### 分子の定義

1. 分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

薬価基準コード7桁	成分名	推奨抗菌薬	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6132401	セファゾリンナトリウム	CEZ	○	○	○	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム水和物	CEZ					○	○	○

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
4. SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。
5. CEZの供給停止(2019年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。（代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付）

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成31年3月29日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>